

川口溪谷ガイドマップ

川口山伝説青鹿の親子

延暦14年(795年)ごろ、坂上田村麿がエゾ平討つためこの地に来て、杉崎権現に戦勝を祈願した。そして後にエゾを鎮定したのでこの社殿を大きく改築し、清能という武士を神主としてこの宮を守らせた。清能は弓の名手で、ある日、獲物を求めて川口溪谷を探索していると子鹿を連れた青鹿(カモシカ)を見つけ、矢を放ったが傷を負わせただけでは済んだ。傷ついて逃げる青鹿の親子を追うと炭焼きが炭を焼いている沢(今の炭焼沢)に出た。そこで青鹿の親子の行方を尋ねると、この沢を降りたとのことであり、なお追っていくと温泉の湧く沢で子鹿が母鹿の傷口を頼ずりするように洗っていた。これを見た清能は以来、殺生を禁ずる覚悟を決めた。そのとき、向かいの山の崖にいた猿の一群が、弓矢の武士を見て驚きの声を上げ、その声に驚いた青鹿の親子は一目散に逃げ出し、二又のところで母鹿は、子鹿が南の又沢に逃げ延びるのを見届けたあと、自らはおとりとなるように北の又沢に姿をくましました。現在、子鹿が逃げた南の又沢の奥の山を「鹿ノ子山」といい、母鹿が逃げた北の又沢の奥の山を「青シカ山」と呼んでいる。

太田公民館発行ふるさとシリーズ第9集「太田の昔話と伝説」より

奥羽山荘

至 真木溪谷

至 みずほの里ロード

この先冬期間閉鎖

杉崎権現神社 大宝2年(702年)勢至観音を祀り建立され、後に豊受媛を祭神とする作神として信仰されています。

車両乗り入れ最終地点

ビューポイント

春の新緑から秋の紅葉まで四季折々に彩りを楽しめます。

見ごろ

- 山桜 5月中旬
- 新緑 5月中旬
- 紅葉 10月中旬～下旬

ウグイス

ヤマザクラ

オブ山の大杉

- 【樹齢】1000年以上
- 【周囲】15.2m
- 【主幹】12.4m
- 【樹高】34m

秋田県一(東北で第3位)の幹回りを誇る巨木です。鹿児島県屋久島の縄文杉などと並び、林野庁の「森の巨人たち100選」にも選ばれています。このオブ山の大杉を中心とした天然杉の巨木群は、市の天然記念物にも指定されています。大杉に至るには、看板から約30分。健脚向けのルートですが、相応の身支度をして、自然の雄大さに触れてみてはいかがでしょうか。

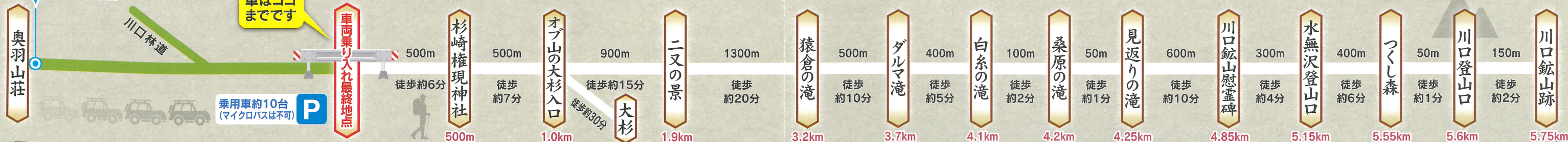
秋田県一(東北で第3位)の幹回りを誇る巨木です。鹿児島県屋久島の縄文杉などと並び、林野庁の「森の巨人たち100選」にも選ばれています。

この先冬期間閉鎖

車はココまでです

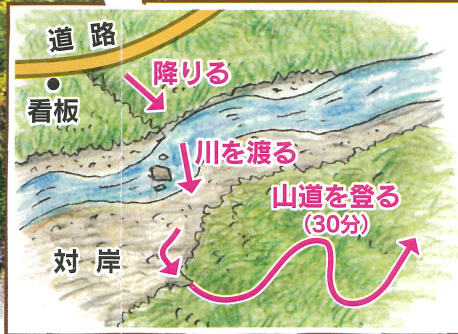
車両乗り入れ最終地点

乗用車約10台 (マイクロバスは不可)



奥羽山荘から車両乗り入れ最終地点まで約1.6km 車で約5分

車両乗り入れ最終地点から川口鉦山跡まで約5.7km 徒歩で約1時間30分



青シカ山 (987)

権現山 (722.4)

川口鉦山跡

川口登山口

つくし森

川口鉦山慰霊碑

水無沢登山口

鹿ノ子山 (937.7)

ダルマ滝

白糸の滝

桑原の滝

ビューポイント

滝の流れと紅葉の彩りが連続で楽しめる、おすすめビューポイントです。中でも桑原(かんばら)の滝は、溪谷一の豊富な水量を誇る滝で、見ごたえ十分!

1706年、佐竹藩探鉱で発見された川口鉦山。江戸時代末期に最も栄え、明治以降衰退しましたが、昭和12年に鎌田斯郎氏が採掘権を得て再度採鉱され、昭和32年に閉山されました。鉦山で亡くなった方々の慰霊碑が建立されています。



猿倉の滝

見返りの滝

つくし森沢橋

八倉沢橋

元平沢橋

鉦山橋

牛首橋

九衛門沢橋

北の又沢橋

川口溪谷 休憩所トイレ

二又の景

杉崎権現神社

オブ山の大杉

川口林道

川口川